

# 兵庫県下の経済動向

平成28年9月

但馬銀行  
TAJIMA BANK

## 目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

## 【概 況】

最近の県内景気は、輸出・生産面に新興国経済の減速の影響がみられるものの、緩やかに回復している。個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、底堅く推移している。また、設備投資は増加している。住宅投資は横ばい圏内で推移している。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が7か月連続して前年実績を下回った。

乗用車販売は、3か月連続して前年実績を下回った。

家電販売は、緩やかに持ち直しつつある。

設備投資は、28年度増加となる見込み。

住宅投資は、全体で2か月ぶりに前年を上回った。

公共工事請負金額は、神戸市を除く市町、独立行政法人等で2桁減となるも、その他の団体、国、神戸市で著増、兵庫県で増加となった。

貿易は、輸出は、中国、アジア、EU、米国向けが減少したため6か月連続して前年を下回った。輸入は、EU、中国、アジア、米国向けが減少したため11か月連続して前年を下回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、3か月連続して前年を上回った。

雇用関係では、新規求人数、有効求人倍率ともに前年を上回った。

また、常用労働者数、一人当たり名目賃金は前年を上回ったが、所定外労働時間は前年を下回った。

金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。

企業倒産は、件数は前年を下回ったが、負債金額は前年並みとなった。

### 兵庫C I 及び兵庫D I から見た県内の景気動向

6月の兵庫C Iは、先行指数92.0、一致指数109.2、遅行指数104.3となった。

6月の兵庫D Iは、先行指数57.1%、一致指数37.5%、遅行指数62.5%となった。

兵庫C Iは、先行指数は4か月連続で前月差増、一致指数は2か月ぶりに前月差減、遅行指数は3か月ぶりに前月差減となった。

一方、兵庫D Iは、先行指数が2か月連続で50%を上回った。

県統計課は基調判断を「兵庫C I一致指数は、悪化を示している。」としている。

\*兵庫D I と兵庫C I・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫D I)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫C I)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【生 産】

7月の県鉱工業生産指数(平成22年=100、季節調整済、速報)は96.6、前月比4.6%減。出荷指数は97.1、同4.1%減。在庫指数は114.3、同2.0%減。在庫率は121.3、同19.3%増。生産指数、出荷指数ともに2か月ぶりに減少、在庫指数は3か月ぶりに減少した。

前年同月比(原指数)では、生産は前年同月比6.3%減で2か月ぶりに減少、出荷は同5.7%減で2か月ぶりに減少、在庫は同3.2%増で6か月連続して増加した。

主要業種の生産動向を対前月比で見ると、「情報通信機械工業」(携帯電話等)が24.7%、「輸送機械工業」(旅客車等)が8.7%、「電気機械工業」(一般用タービン発電機等)が3.1%、「鉄鋼業」(普通鋼鋼帯等)が1.9%各々上昇し、「窯業・土石製品工業」(ガラス製容器類等)が2.8%、「食料品工業」(清酒等)が3.1%、「金属製品工業」(ガス温水給湯暖房機等)が9.5%、「化学工業」(医薬品等)が10.4%、「はん用・生産用・業務用機械工業」(集じん機器等)が21.2%各々下落した。

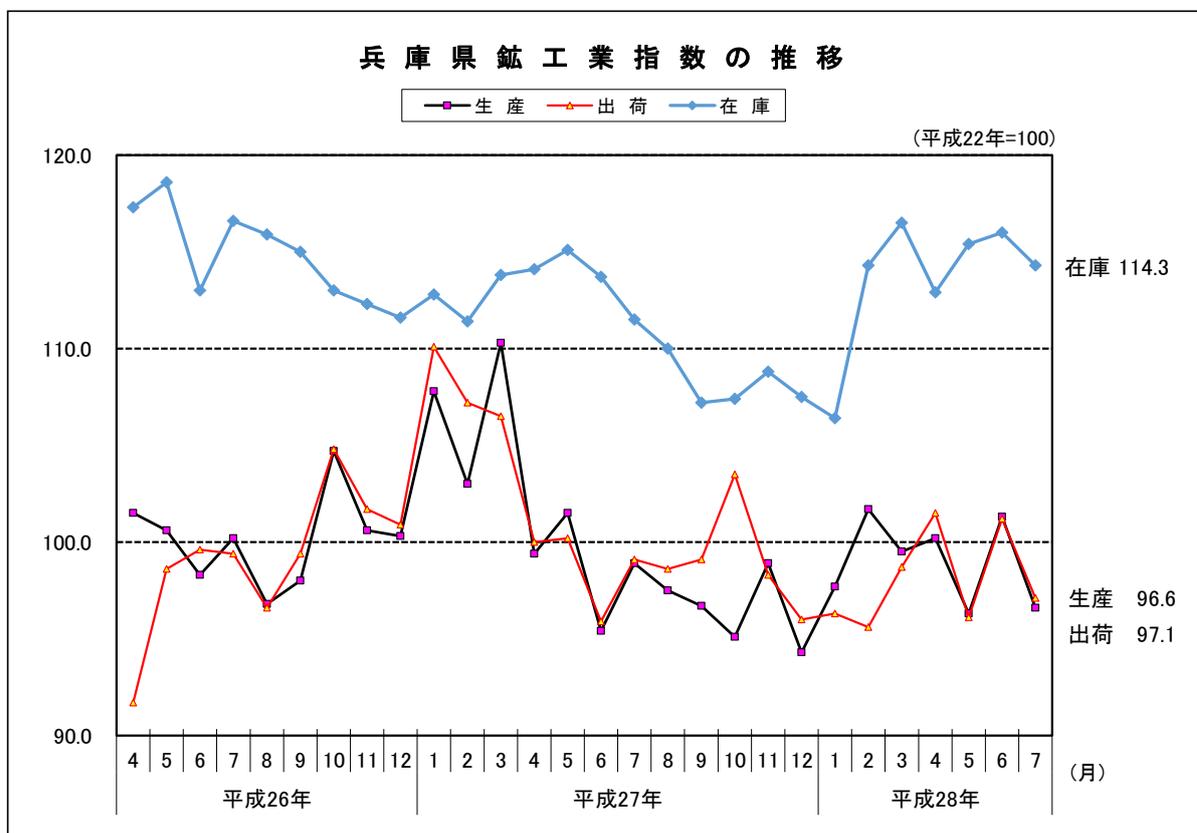
県統計課は、基調判断を「横ばい傾向となっている。」とした。

### 7月の兵庫県鉱工業指数

(速報、平成22年=100)

区 分	季節調整済 指数	対前月比 増減 (%)	原 指 数	
			原 指 数	対前年同月 比増減 (%)
生 産	96.6	▲ 4.6	95.1	▲ 6.3
出 荷	97.1	▲ 4.1	94.8	▲ 5.7
在 庫	114.3	▲ 2.0	117.6	3.2
在 庫 率	121.3	19.3	123.6	7.9

資料：兵庫県企画県民部統計課



### 7月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成22年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄鋼業	97.8	1.9	上昇	普通鋼鋼帯、特殊鋼熱間圧延鋼材、鍛鋼品、普通鋼冷延広幅帯鋼
			低下	鋳鉄管、ブリキ、普通鋼線材、亜鉛めっき鋼板
金属製品 工業	81.3	▲9.5	上昇	ガス温風暖房機、鋼索、鋼管製管継手、うす板ばね
			低下	ガス温水給湯暖房機、ガス風呂がま、橋りょう、超硬チップ
はん用・生産 用・業務用 機械工業	67.8	▲21.2	上昇	ダイヤモンド工具、トンネル掘進機、圧縮機、固定比減速機
			低下	集じん機器、一般用蒸気タービン、蒸気タービン部品、混合機・かくはん機・粉碎機
電気機械 工業	153.5	3.1	上昇	一般用タービン発電機、電力交換装置、保護継電器、一般用エンジン発電機
			低下	リチウムイオン蓄電池、非標準油入り変圧器(10000kVA)、開閉制御装置、電気がま
情報通信 機械工業	120.1	24.7	上昇	携帯電話、カーナビゲーション、無線位置測定装置、搬送装置
			低下	テレメータ・テレコントロール、カーオーディオ、基地局通信装置
輸送機械 工業	136.3	8.7	上昇	旅客車、船用ディーゼル機関、二輪自動車(125ml超)、特殊自動車
			低下	機体部品、発動機部品、内燃機関電装品、特装ボデー
窯業・土石 製品工業	98.6	▲2.8	上昇	セメント、安全ガラス、ほうろう鉄器製品、タイル
			低下	ガラス製容器類、ファインセラミックス(構造材)、遠心力鉄筋コンクリート管、不定形耐火物
化学工業	102.9	▲10.4	上昇	化粧品、酢酸(99%換算)、シクロヘキサン、アクリル酸エステル
			低下	医薬品、無水酢酸、純ベンゼン、塩化ビニル(モノマー)
食料品工業	91.6	▲3.1	上昇	冷凍調理食品、乳飲料、塩、肉製品
			低下	清酒、配合飼料、ビール類、しょうゆ

資料：兵庫県企画県民部統計課

## 【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた8月の県内百貨店売上高は、前年同月比6.3%減の134億4,828万円で、横ばいだった前月を挟んで再び減少に転じた。

厳しい残暑で秋物衣料が振るわず、紳士服・洋品と婦人服・洋品がともに1割以上減った。休日が前年同月より1日少なかったことも響いた。

一方で美術・宝石・貴金属は11.3%増えた。

神戸地区は6.3%減、姫路・加古川地区は6.4%減だった。

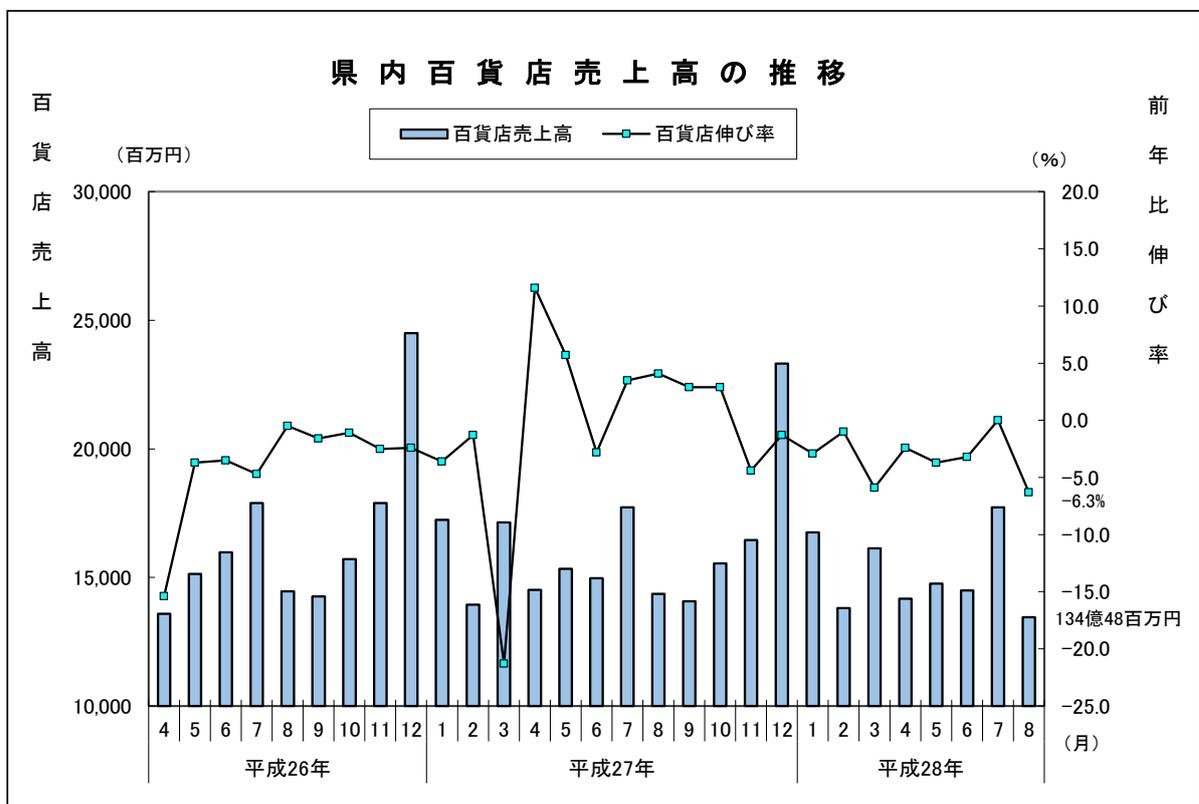
### 8月の県内百貨店売上高

品目	神戸	姫路・加古川	合計
紳士服・洋品	378(▲11.3)	104(▲8.0)	482(▲10.6)
婦人服・洋品	3,150(▲11.6)	387(▲12.7)	3,538(▲11.7)
子供服・洋品	225(▲6.7)	69(▲11.7)	294(▲7.9)
身の回り品	951(▲6.7)	211( 2.4)	1,162(▲5.2)
雑貨	1,961(▲0.5)	310(▲7.5)	2,271(▲1.5)
家庭用品	389(▲9.6)	103(▲17.5)	493(▲11.4)
食料品	3,482(▲4.0)	777(▲3.6)	4,260(▲3.9)
その他	653(▲2.1)	291(▲2.7)	944(▲2.3)
計	11,191(▲6.3)	2,256(▲6.4)	13,448(▲6.3)

※ 単位百万円、百万円未満切捨て。( )内は、前年同月比伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

※ 神戸地区には芦屋を含む。



## 【個人消費】『新車登録』

県内8月の乗用車新車登録台数は10,542台、前年同月比2.4%減と4か月連続して前年同月の実績を下回った。

8月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は4,321台(前年同月比6.3%増)、小型乗用車は3,095台(同8.1%減)、軽乗用車は3,126台(同7.1%減)、乗用車合計で10,542台(同2.4%減)となった。

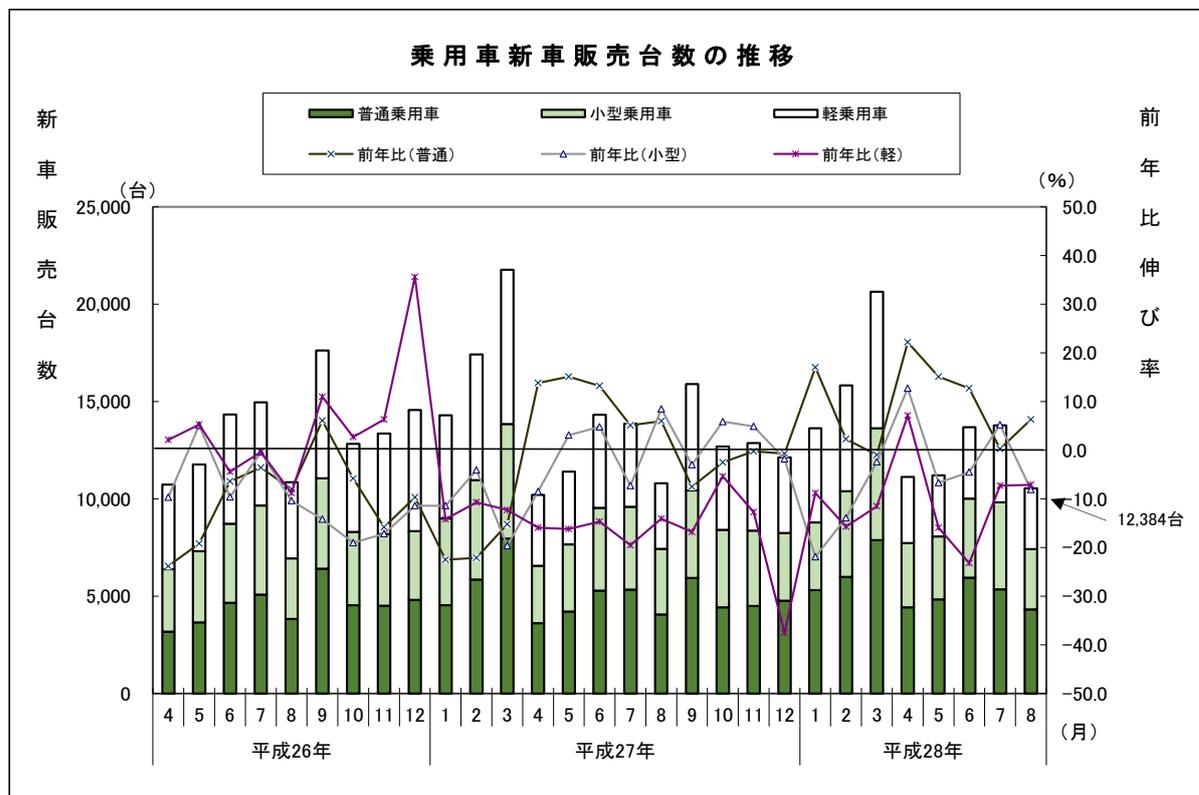
また貨物車等では、普通貨物車は353台(前年同月比20.1%増)、小型貨物車は591台(同11.7%減)、軽貨物車は870台(同3.0%増)、バスは28台(同3.7%増)となった。

### 8月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	4,321	6.3	102,554	13.0
小型乗用車	3,095	▲ 8.1	88,195	▲ 2.1
軽乗用車	3,126	▲ 7.1	88,622	▲ 2.1
<b>乗用車合計</b>	<b>10,542</b>	<b>▲ 2.4</b>	<b>279,371</b>	<b>2.9</b>
普通貨物車	353	20.1	12,909	9.3
小型貨物車	591	11.7	18,478	5.0
軽貨物車	870	3.0	24,763	▲ 1.8
<b>貨物車合計</b>	<b>1,814</b>	<b>8.8</b>	<b>56,150</b>	<b>2.8</b>
バス	28	3.7	1,137	9.3
<b>登録車総計</b>	<b>12,384</b>	<b>▲ 0.9</b>	<b>336,658</b>	<b>2.9</b>

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



## 【設備投資】

内閣府が9月12日に発表した機械受注統計によると、平成28年7月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、平成28年6月前月比10.1%増の後、7月は同2.8%減の2兆1,489億円となった。

このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、6月前月比8.3%増の後、7月は同4.9%増の8,919億円となった。

内訳をみると、製造業が同0.3%増の3,677億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同8.6%増の5,251億円であった。

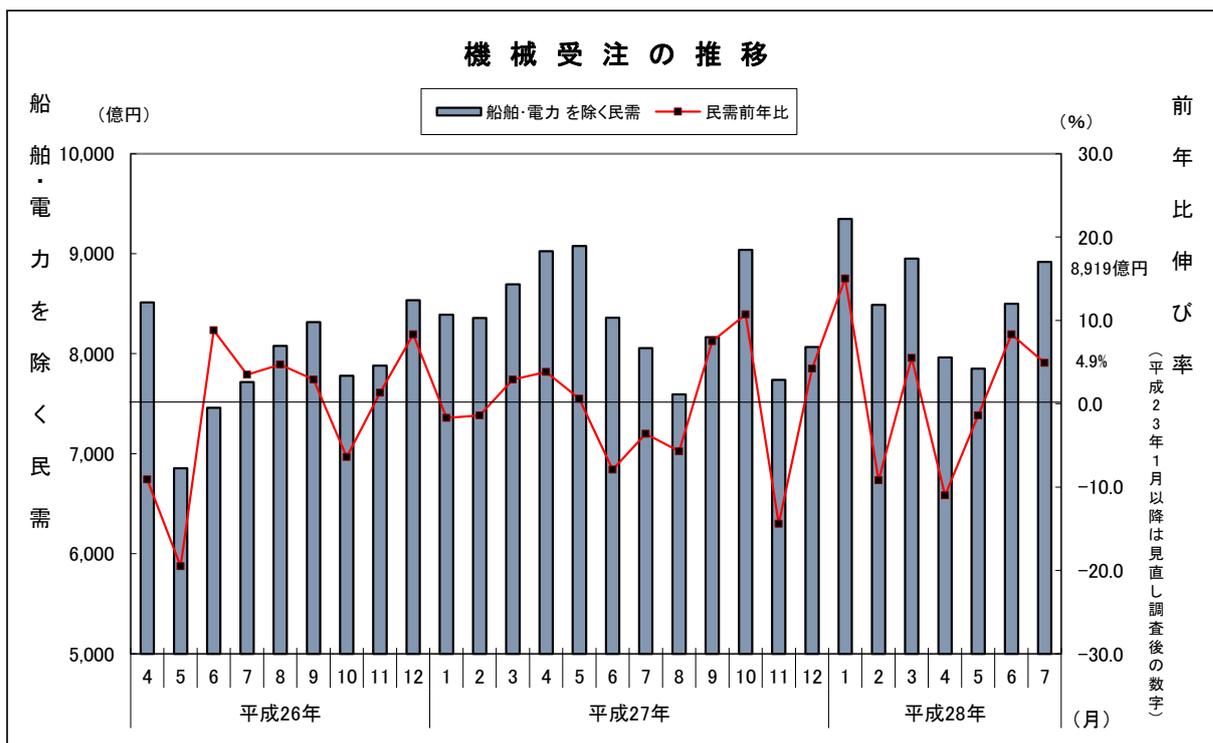
製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、金属製品(109.3%増)、鉄鋼業(75.8%増)、石油製品・石炭製品(27.3%増)、食品製造業(24.5%増)、化学工業(23.8%増)、情報通信機械(15.4%増)、造船業(7.4%増)、自動車・同付属品(6.1%増)、はん用・生産用機械(0.7%増)等の9業種で、「その他製造業」(4.4%減)、業務用機械(4.7%減)、電気機械(5.9%減)、パルプ・紙・紙加工品(25.9%減)、窯業・土石製品(30.0%減)、繊維工業(40.6%減)、非鉄金属(64.4%減)、その他輸送用機械(69.3%減)等の8業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、通信業(49.9%増)、金融業・保険業(17.7%増)、卸売業・小売業(6.0%増)、リース業(5.3%増)、鉱業・採石業・砂利採取業(3.9%増)、不動産業(1.5%増)等の6業種で、情報サービス業(0.4%減)、農林漁業(3.1%減)、「その他非製造業」(3.7%減)、運輸業・郵便業(18.0%減)、建設業(18.6%減)、電力業(20.0%減)等の6業種は減少となった。

兵庫県下においては、2016年度設備投資額は、非製造業が減少計画となった一方、製造業が増加計画であることから、全産業でも増加計画。

\*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2016年6月 ——兵庫県——

設備投資計画：全産業前年度比+16.0% (製造業+22.8%、非製造業▲3.5%)



機械受注統計 (平成28年7月分)

	27年 7~9月 実績	10~12月 実績	28年 1~3月 実績	4~6月 実績	7~9月 見通し	28年 4月 実績	5月 実績	6月 実績	7月 実績
受注総額	68,976 (-3.9) [ 1.9]	72,164 ( 4.6) [ 8.1]	69,021 (-4.4) [-2.5]	64,834 (-6.1) [-9.6]	67,654 ( 4.3) [-2.8]	22,672 (-12.8) [-7.1]	20,064 (-11.5) [-13.0]	22,098 (10.1) [-9.1]	21,489 (-2.8) [-12.8]
民 需	28,993 (-5.5) [-2.0]	30,832 ( 6.3) [ 6.6]	34,667 (12.4) [ 4.5]	28,742 (-17.1) [-6.1]	32,294 (12.4) [10.6]	9,478 (-20.2) [-7.9]	9,310 (-1.8) [-7.9]	9,954 ( 6.9) [-3.2]	9,838 (-1.2) [-0.3]
” (Ex 船・電)	24,456 (-6.5) [-0.9]	25,098 ( 2.6) [ 2.1]	26,785 ( 6.7) [ 3.4]	24,312 (-9.2) [-6.5]	25,587 ( 5.2) [ 4.8]	7,963 (-11.0) [-8.2]	7,850 (-1.4) [-11.7]	8,498 ( 8.3) [-0.9]	8,919 ( 4.9) [ 5.2]
製造業	10,583 (-9.6) [-1.1]	10,266 (-3.0) [-3.1]	11,677 (13.7) [ 4.3]	10,110 (-13.4) [-12.9]	11,546 ( 14.2) [ 9.4]	3,329 (-13.3) [-14.8]	3,115 (-6.4) [-21.5]	3,666 (17.7) [-3.8]	3,677 ( 0.3) [-1.4]
非製造業 (Ex 船・電)	13,795 (-4.9) [-0.8]	14,565 ( 5.6) [ 6.3]	15,071 ( 3.5) [ 2.6]	14,325 (-5.0) [-1.0]	14,111 (-1.5) [2.2]	4,750 (-3.9) [-3.0]	4,738 (-0.3) [-2.5]	4,838 ( 2.1) [ 1.8]	5,251 ( 8.6) [11.3]
官 公 需	7,383 (-8.0) [ 1.6]	6,563 (-11.1) [-18.4]	7,876 (20.0) [18.6]	6,830 ( -13.3) [-14.6]	6,996 ( 2.4) [-9.8]	2,307 (-35.7) [-21.0]	2,131 (-7.6) [-11.5]	2,393 (12.3) [-8.4]	2,919 (22.0) [33.6]
外 需	29,280 ( 3.8) [ 5.8]	31,946 ( 9.1) [17.0]	23,439 (-26.6) [-18.8]	24,305 ( 3.7) [-13.6]	24,733 ( 1.8) [-15.8]	8,693 (-6.9) [-2.0]	7,407 (-14.8) [-20.8]	8,205 (10.8) [-16.8]	7,248 (-11.7) [-32.9]
代 理 店	3,237 ( 6.0) [ 5.1]	3,349 ( 3.4) [ 7.2]	3,559 ( 6.3) [17.3]	3,255 (-8.5) [ 6.3]	3,617 (11.1) [ 8.7]	1,096 (-3.9) [ 3.5]	1,016 (-7.3) [ 8.9]	1,143 (12.5) [ 6.9]	1,189 ( 4.1) [17.4]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
  2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

## 【住宅投資】

県内7月の新設住宅着工総数は3,032戸(前年同月比23.8%増)となり、前年を上回ったが、前月比では147戸の増加となった。

また、利用関係別では「持家」が930戸(前年同月比18.9%増)、「貸家」が1,428戸(同32.3%増)、「分譲住宅」が673戸(同15.8%増)となった。

7月の新設住宅着工戸数 (速報、単位：戸、%)

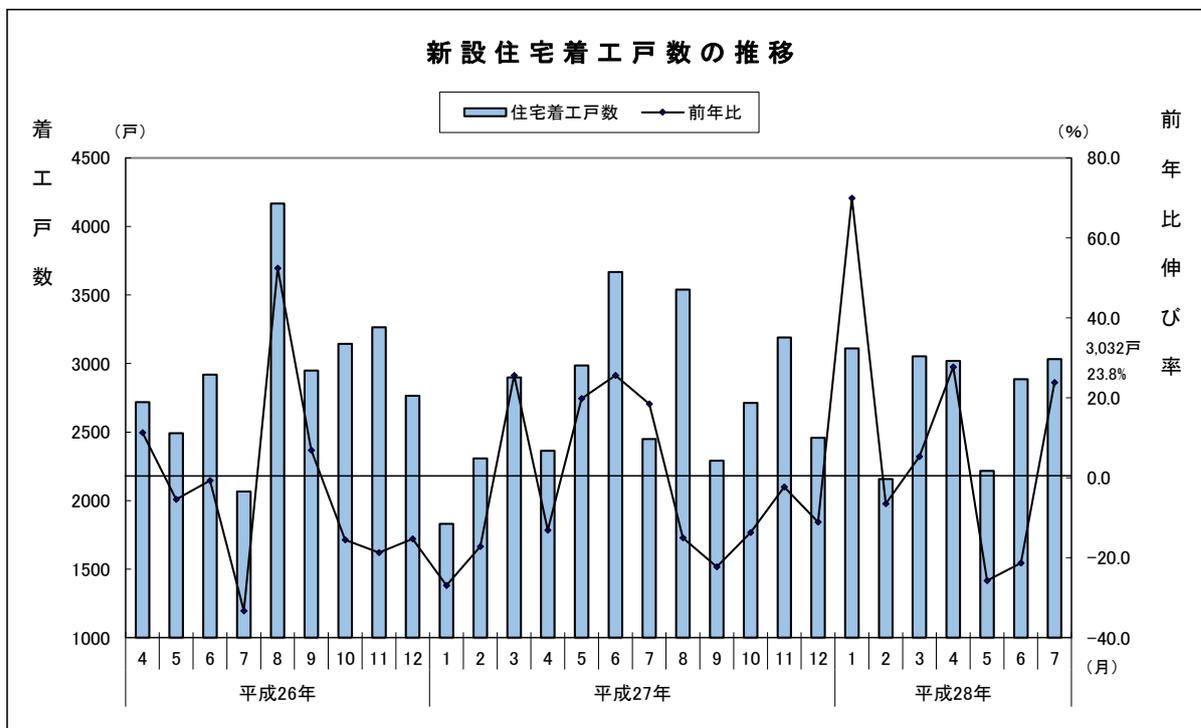
	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	930	18.9	26,910	6.0
・分譲住宅	673	15.8	19,897	9.1
貸家系・貸家	1,428	32.3	37,745	11.1
・給与住宅	1	▲87.5	656	0.8
<b>総数</b>	<b>3,032</b>	<b>23.8</b>	<b>85,953</b>	<b>8.9</b>

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

7月の地域別着工戸数 (戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	818	632	412	338	101	522	84	30	47	48	3,032
前月比	36.6	-5.1	12.6	-39.0	-25.2	35.6	12.0	-18.9	147.4	-2.0	5.1

資料：兵庫県住宅政策課



## 【公共工事】

8月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は449件で前年同月比4.4%の増加、請負金額は323億66百万円で前年同月比30.1%の増加となった。

発注者別(金額ベース)にみると、「独立行政法人等」前年同月比17.6%、「神戸市を除く市町」同19.7%の減少となったが、「その他の団体」同168.2、「国」同143.4%、「神戸市」同65.7%、「兵庫県」同7.1%の増加となったため、前年同月比30.1%の増加となった。

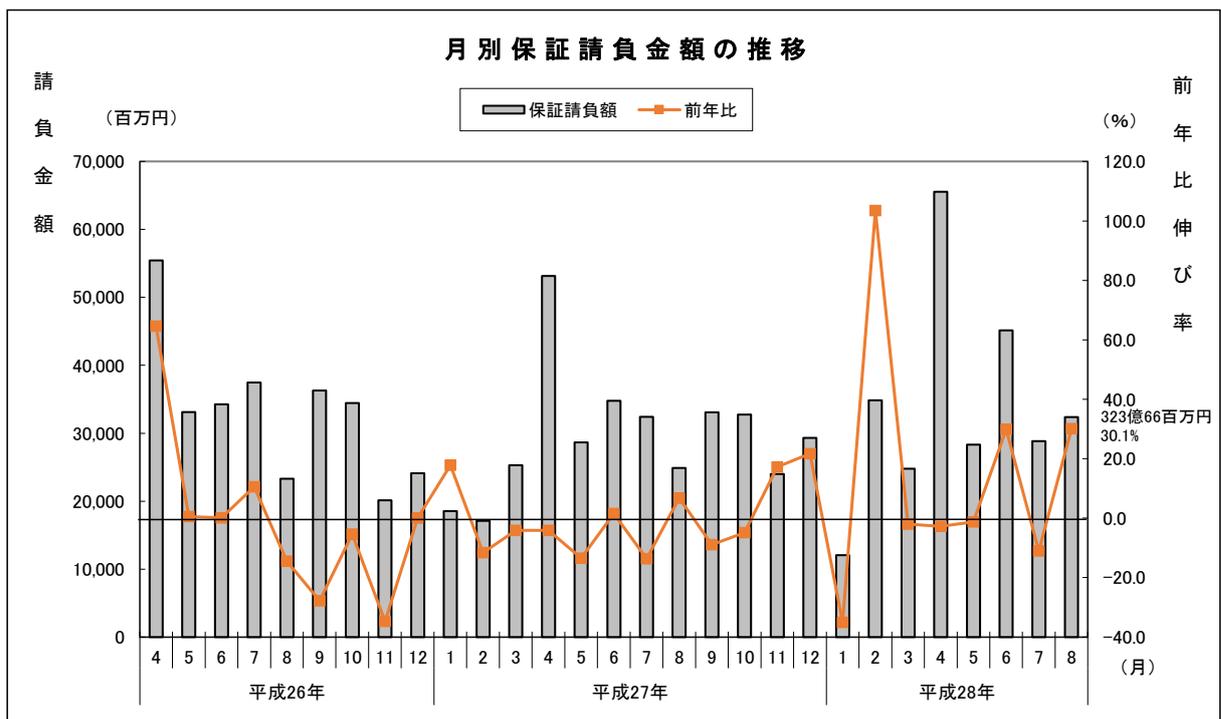
地域別(金額ベース)では、阪神北(前年同月比4.2%減)、北播磨(同11.6%減)、淡路(同23.5%減)、阪神南(同29.1%減)、西播磨(同30.5%減)、丹波(同40.7%減)が減少したが、但馬(同244.2%増)、神戸市(同106.9%増)、中播磨(同20.1%増)、東播磨(同14.8%増)が増加したため、前年同月比30.1%の増加となった。

### 8月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、( )内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	29( 31.8)	6,317( 143.4)	神戸港ポートアイランド(第2期)地区航路(-16m)第六南防波堤撤去工事 他4件
独立行政法人等	11( 57.1)	639(▲17.6)	神戸淡路鳴門自動車道(特定更新等)舞子高架橋他塩害対策工事
兵庫県	121(▲2.4)	6,067( 7.1)	営教第8号兵庫県立神戸西部新設高等特別支援学校(仮称)管理・普通教室棟その他建築工事 他1件
神戸市	50( 51.5)	4,420( 65.7)	上沢変電所・駅電気室(他3箇所)更新工事
神戸市を除く市町	199(▲2.5)	8,730(▲19.7)	
その他の団体	39(▲2.5)	6,190( 168.2)	下水道事業団 他1件
合計	449( 4.4)	32,366( 30.1)	

資料：西日本建設業保証(株)



## 【貿易】

平成28年8月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,240億円、前年同月比10.3%の減少で、総額ベースで11か月連続して減少となった。輸出は、音響・映像機器の部分品などが増加したものの、鉄道用車両、織物用糸及び繊維製品などが減少した。一方、輸入は大豆などが増加したものの、有機化合物、衣類及び同付属品などが減少した。

輸出は3,918億円(前年同月比9.6%減)と6か月連続して減少した。

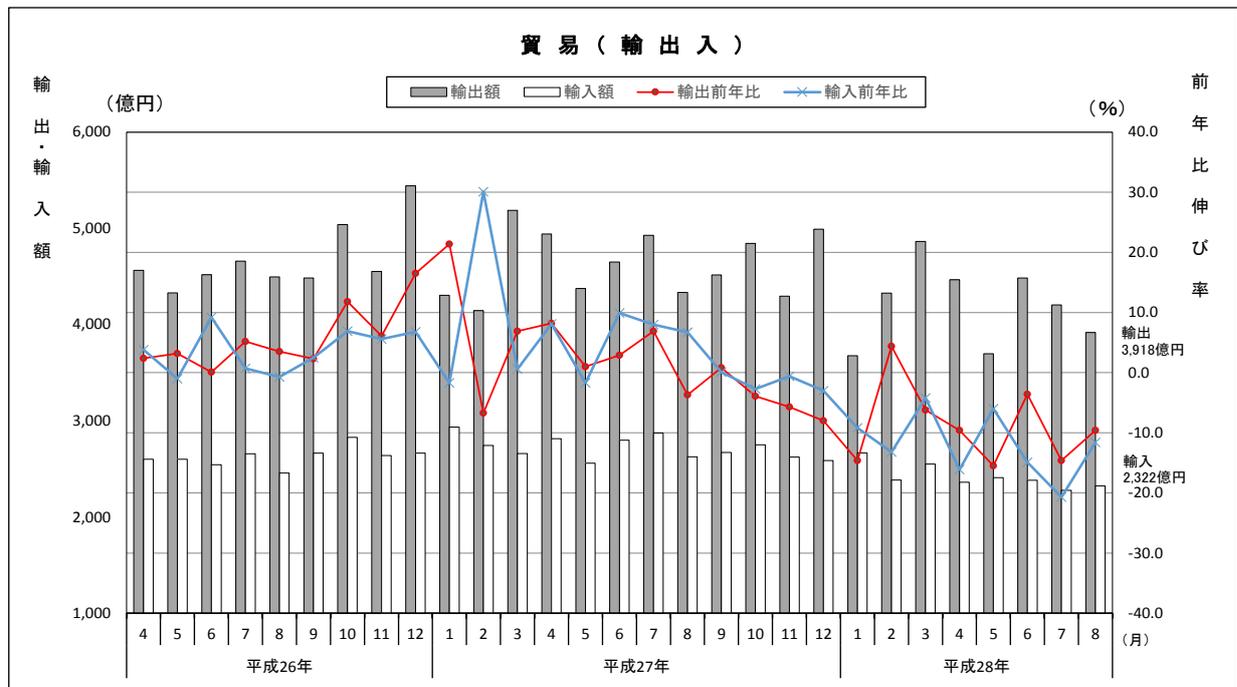
主要品目では、建設用・鉱山用機械(前年同月比7.8%増、4か月ぶりにプラス)が増加したものの、原動機(同3.7%減、5か月連続してマイナス)、プラスチック(同9.0%減、8か月連続してマイナス)、織物用糸及び繊維製品(同16.9%減、6か月連続してマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、中国(前年同月比2.0%減、6か月連続してマイナス)、米国(同6.0%減、2か月連続してマイナス)、アジア(中国含む)(同10.7%減、6か月連続してマイナス)、EU(同12.5%減、2か月連続してマイナス)が減少した。

輸入は2,322億円(前年同月比11.6%減)と11か月連続して減少した。

主要品目では、たばこ(前年同月比10.1%減、13か月連続してマイナス)、非鉄金属(同10.5%減、13か月連続してマイナス)、衣類及び同付属品(同12.1%減、3か月連続してマイナス)、有機化合物(同26.1%減、8か月連続してマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、EU(前年同月比6.3%減、3か月連続してマイナス)、アジア(中国を含む)(同10.5%減、5か月連続してマイナス)、中国(同13.1%減、5か月連続してマイナス)、米国(同15.7%減、7か月連続してマイナス)が減少した。



## 【物 価】『消費者物価』

8月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.1(平成27年=100)となり、前月比0.1%の増加、前年同月比0.1%の減少となった。生鮮食品を除く総合指数は100.3となり、前月比0.2%の増加、前年同月比0.3%の増加となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は100.8となり、前月比は0.1%の増加、前年同月比は0.7%の増加となった。

前月からの動きを見ると、ガス代などの減少により「光熱・水道」が1.1%、衣料などの減少により「被服及び履物」が1.0%、家庭用耐久財などの減少により「家具・家事用品」が1.3%減少した。しかし、教養娯楽サービスなどの増加により「教養娯楽」が1.3%、肉類などの増加により「食料」が0.3%、交通などの増加により「交通・通信」が0.4%、医薬品・健康保持用摂取品などの増加により「保健医療」が0.2%増加した結果、0.1%の増加となった。

### 8月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合
指数	100.1	100.9	100.8	90.9	98.2	100.7	101.0	99.4	101.3	101.9	101.7	100.3	100.8
前月比	0.1	0.3	0.0	▲1.1	▲1.3	▲1.0	0.2	0.4	0.0	1.3	0.0	0.2	0.1
前年同月比	▲0.1	▲0.2	0.9	▲7.1	▲1.8	4.9	0.4	▲1.7	1.1	0.7	1.5	0.3	0.7

(注)平成22年=100

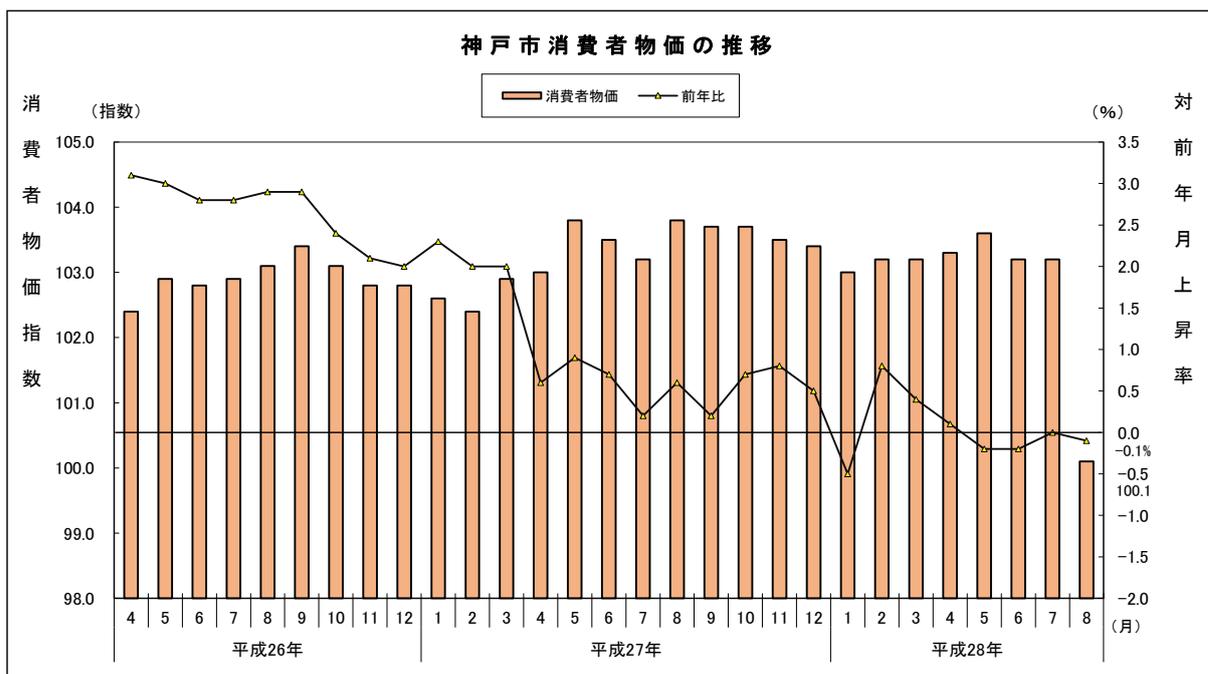
資料：兵庫県統計課

#### ○対前月比値上がりした主な品目

教養娯楽サービス (+ 1.8%)・・・宿泊料、外国パック旅行費  
肉類 (+ 3.1%)・・・牛肉(国産品)、鶏肉

#### ○対前月比値下がりした主な品目

ガス代 (▲ 2.5%)・・・都市ガス代  
衣料 (▲ 1.8%)・・・背広服(春夏物、中級品)、女兒用スカート



## 【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が9月12日に発表した、企業物価指数(速報)による2016年8月の企業物価指数は次のとおり。

8月の企業物価指数 (速報、2010年=100)

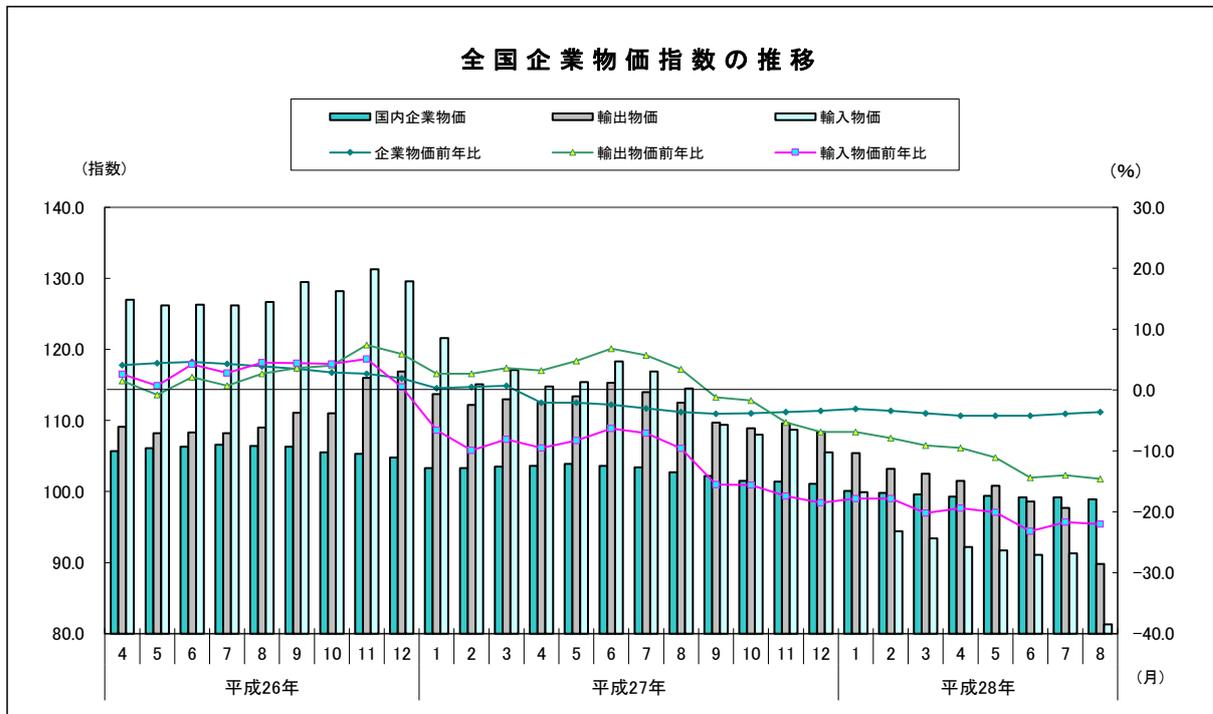
	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	98.9	▲ 0.3	▲ 3.6
輸 出 物 価	89.8	0.1	▲14.6
輸 入 物 価	81.3	▲ 0.6	▲22.0

資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、化学製品（前月比0.1%減<キシレンなど>）、石油・石炭製品（同0.8%減<軽油など>）、農林水産物（同0.8%減<豚肉など>）、非鉄金属（同1.4%減<銅地金など>）、電力・都市ガス・水道（同1.6%減<産業用特別高压電力など>）等が減少し、円ベースでは前月比0.3%の減少（前年同月比3.6%減少）となった。

輸出物価は、はん用・生産用・業務用機器（前月比0.8%減<半導体製造装置など>）、金属・同製品（同0.9%減<金地金など>）、化学製品（同1.0%減<スチレンモノマーなど>）、電気・電子機器（同1.5%減<ビデオカメラなど>）、輸送用機器（同1.7%減<普通乗用車など>）、その他産品・製品（同2.1%減<プラスチックフィルムなど>）等が減少し、円ベースでは前月比1.4%の減少（前年同月比14.6%減少）となった。

輸入物価は、金属・同製品（前月比0.1%増<ニッケル地金など>）等が増加したが、電気・電子機器（同1.9%減<プリント配線板など>）、石油・石炭・天然ガス（同5.7%減<原油など>）が減少し、円ベースでは前月比2.4%の減少（前年同月比22.0%の減少）となった。



## 【雇 用】

### (1) 求人状況

県内7月の新規求人数(全数)は、31,211人(前年同月比2.6%増)で、10か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は86,541人(同8.3%増)で75か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では、前年同月比0.5%増で4か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同4.5%増で7か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同8.7%増で10か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、運輸業、郵便業(前年同月比15.3%増)、学術研究、専門術サービス業(同11.9%増)、宿泊業、飲食サービス業(9.2%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同8.8%増)、医療、福祉(同1.2%増)、サービス業(同2.3%増)で前年を上回ったが、建設業(同2.2%減)、製造業(同1.6%減)、卸売、小売業(同5.2%減)で前年を下回った。

### (2) 求職状況

7月の新規求職申込件数(全数)は17,185件(前年同月比8.1%減)で7か月連続して前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は、80,891人(同7.4%減)で74か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比11.8%減で25か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同5.4%減で7か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比87.7%増で3か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比8.8%減で2か月連続して前年を下回り、事業主都合離職者は同11.4%減で7か月連続、自己都合離職者は同12.3%減で8か月連続、自営・他は同23.3%減で8か月連続、無業者は同17.7%減で55か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、19,646人(前年同月比12.6%減)で42か月連続して前年を下回った。

### (3) 求人倍率状況

7月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.73倍(前月比0.03ポイント増)で前月を上回り、有効求人倍率については1.16倍(前月比0.01ポイント増)で前月を上回った。

### (4) 失業者の状況

7月の全国の完全失業率(季節調整値)は3.0%、完全失業者数(原数値)は203万人(前年同月比19万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は3.6%(前年同月比0.7ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は37万人(前年同月比6万人減)となった。

## 産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
28年7月	31,211	2,097	3,663	327	1,567	4,040	194	728	783	3,251	1,178	8,397	3,899
前年同月比	2.6	▲2.2	▲1.6	13.5	15.3	▲5.2	5.4	16.5	11.9	9.2	8.8	1.2	2.3

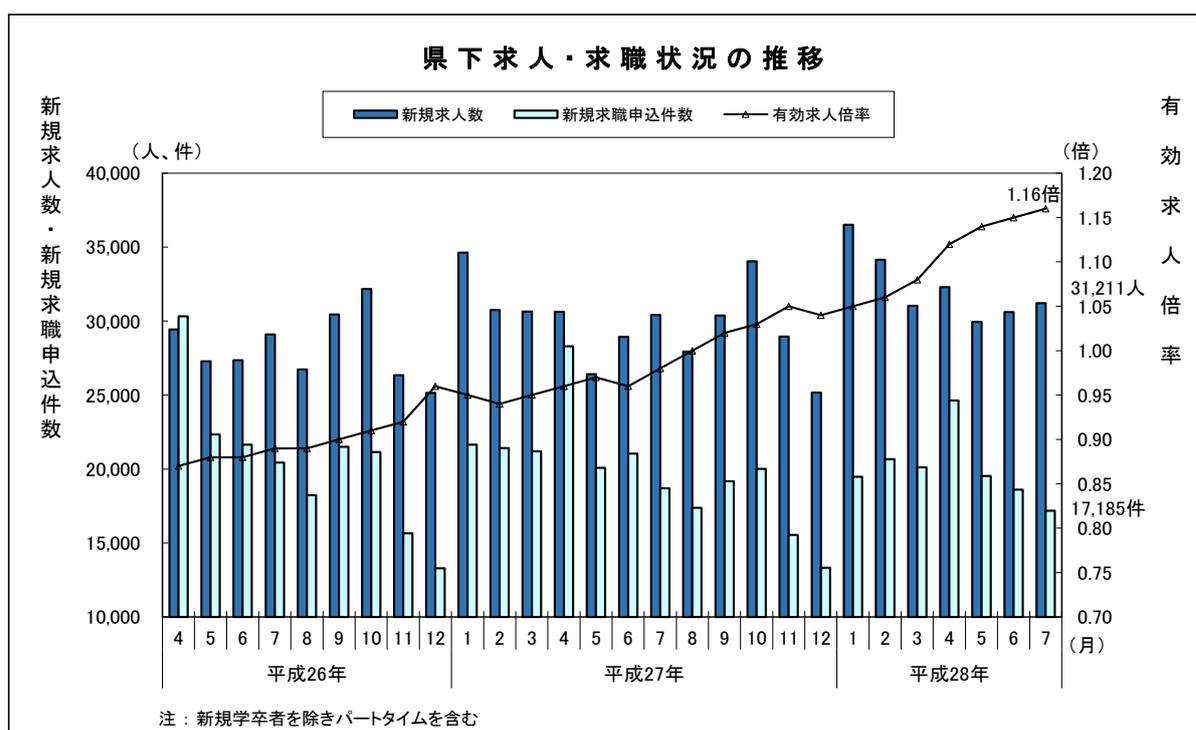
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

## 雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	15/7-9	15/10-12	16/1-3	16/4	16/5	16/6	16/7
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	1.00	1.03	1.06	1.12	1.14	1.15	1.16
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	2.8	5.4	5.9	5.4	13.4	5.8	2.6
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	2.8	1.6	▲4.5	▲1.0	▲5.9	▲6.8	▲8.7
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	0.7	0.8	0.9	0.6	0.8	0.7	0.8
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	1.7	▲0.2	0.6	0.4	▲0.4	0.3	0.2

資料：兵庫労働局、兵庫県企画県民部



## 【信用保証】

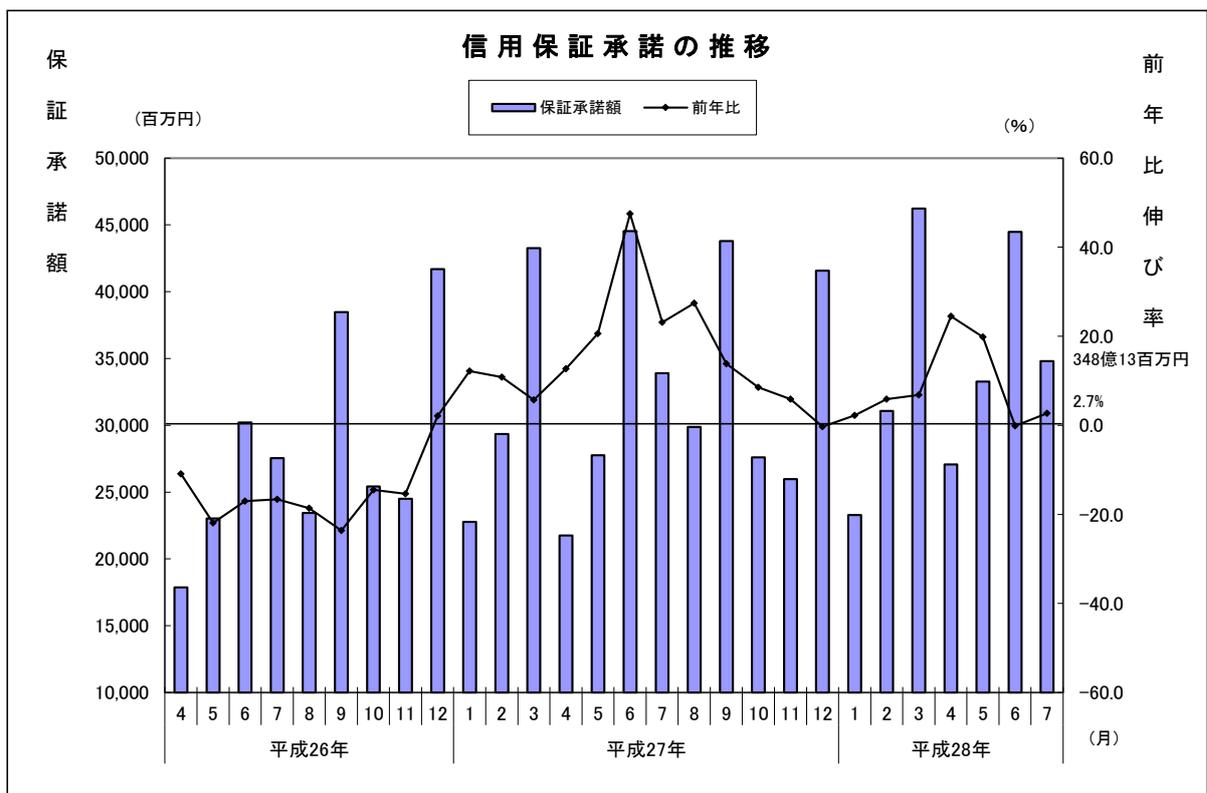
兵庫県信用保証協会による7月の保証承諾実績は、件数で1,951件(前年同月比11.1%減)、金額は348億13百万円(同2.7%増)となり、前年同月実績と比べ、件数は下回ったが、金額は上回った。

資金使途別では、運転資金31,712百万円(前年同月比0.3%増)、設備資金1,192百万円(同9.6%増)となり、前年同月と比べ、運転資金、設備資金ともに上回った。

業種別(金額ベース)では、「小売業」4,522百万円(前年同月比30.9%増)、「製造業」6,525百万円(同20.1%増)、「不動産業」1,854百万円(同14.0%増)、「卸売業」6,224百万円(同7.7%増)、「運送・倉庫業」1,679百万円(同1.2%増)で前年同月を上回り、「サービス業」4,396百万円(同11.5%減)、「建設業」8,069百万円(同11.9%減)、「飲食店」866百万円(同22.4%減)等で前年同月を下回った。

7月末の保証債務残高は、93,264件(前年同月比3.2%減)、1兆72億530百万円(同1.2%減)となった。

一方、同月の代位弁済は、82件(前年同月比32.2%減)、6億69百万円(同49.2%減)となった。



## 【金 融】

7月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

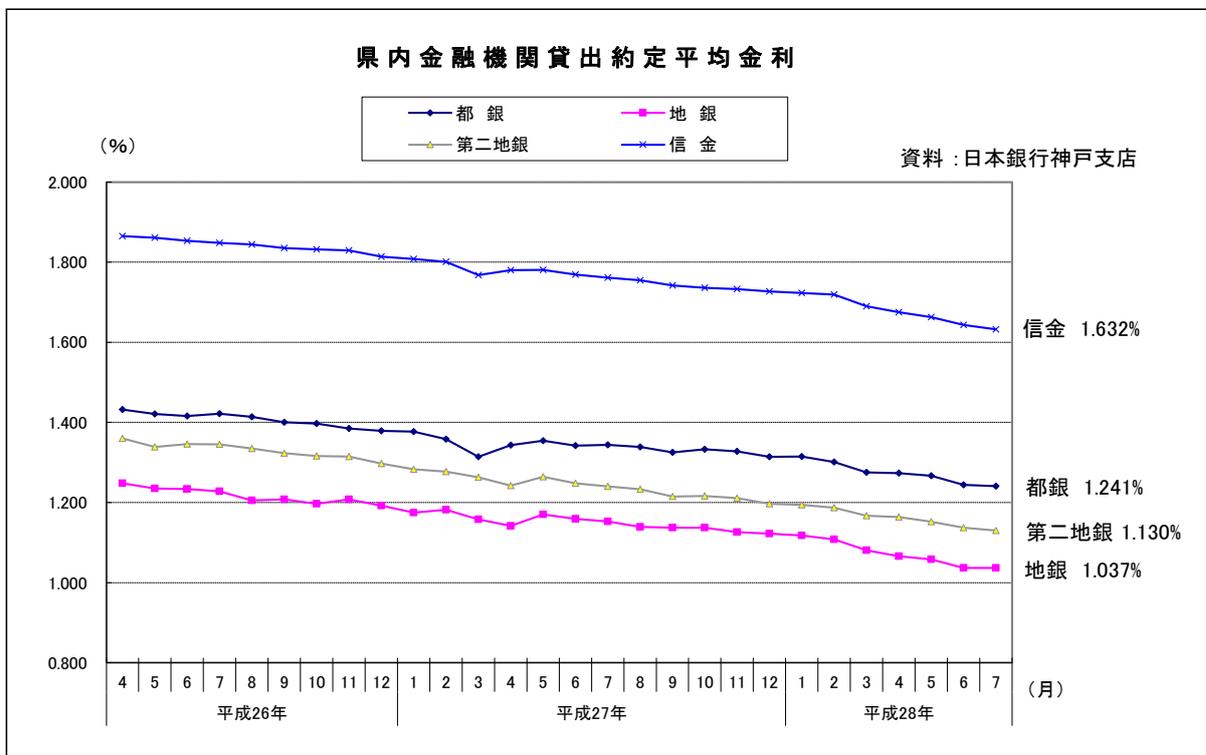
	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都 市 銀 行 等	158,686	4.8	52,794	▲ 0.8
地 方 銀 行	27,170	2.0	25,382	6.2
第 二 地 方 銀 行	34,018	0.9	22,701	3.8
信 用 金 庫	84,744	1.7	39,132	2.7
そ の 他	17,814	1.1	17,432	▲ 1.3
計	322,432	3.1	157,441	1.7

- ・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。
- ・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

7月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比3.1%増)

7月の貸出は、前年を上回って推移している。(前年比1.7%増)

7月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(水準1.324%、前月比▲0.006%ポイント)。



## 【倒 産】

県内8月の企業倒産件数（負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店）は31件で前月比1件（3.33%）の増加、前年同月比7件（18.42%）の減少となり、負債総額は20億23百万円で前月比31億10百万円（60.58%）の減少、前年同月比10百万円（0.49%）の増加となった。

原因別（件数）では、「販売不振」を中心とした「不況型倒産」が28件（全体の90.3%）であった。

業種別（件数）では、「サービス業他」が14件（前年同月比1件増加）でトップであった。

「資本金別」では、「個人企業他」を含めた資本金1,000万円未満までの倒産が25件発生し、全体の80.6%を占めた。

倒産件数は今年5回目となる30件台、一方で負債総額は5月の17億円1,200万円に次いで、今年に入って2番目に少なかった。

ここ2か月間の倒産件数は30件台で推移しており、当月は、規模の小さい倒産がより顕著に見られた。金融機関の柔軟な対応などから倒産が急増する懸念は窺えない。

ただ、企業間体力の二極化が一層、鮮明となっているなかで、経営体力を落としている中小企業を取り巻く環境は依然として厳しく、各種経営対策が裾野まで十分に行き渡っているとは言い難い。先行きが見通しにくい状況下において、今しばらくは同様の傾向が続くものと見られる。

8月の原因別・業種別の倒産件数（負債総額1,000万円以上）

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	1	1	0	2	-1	建設業	6	1	5	6	0
過小資本	0	2	-2	0	0	製造業	1	2	-1	7	-6
連鎖倒産	0	1	-1	2	-2	卸売業	3	10	-7	3	0
赤字累積	2	1	1	5	-3	小売業	6	4	2	4	2
販売不振	26	25	1	26	0	情報通信業	0	0	0	1	-1
売掛金回収難	0	0	0	0	0	サービス業	14	11	3	13	1
その他	2	0	2	3	-1	不動産・運輸業他	1	1	0	4	-3
合計	31	30	1	38	-7	合計	31	30	1	38	-7

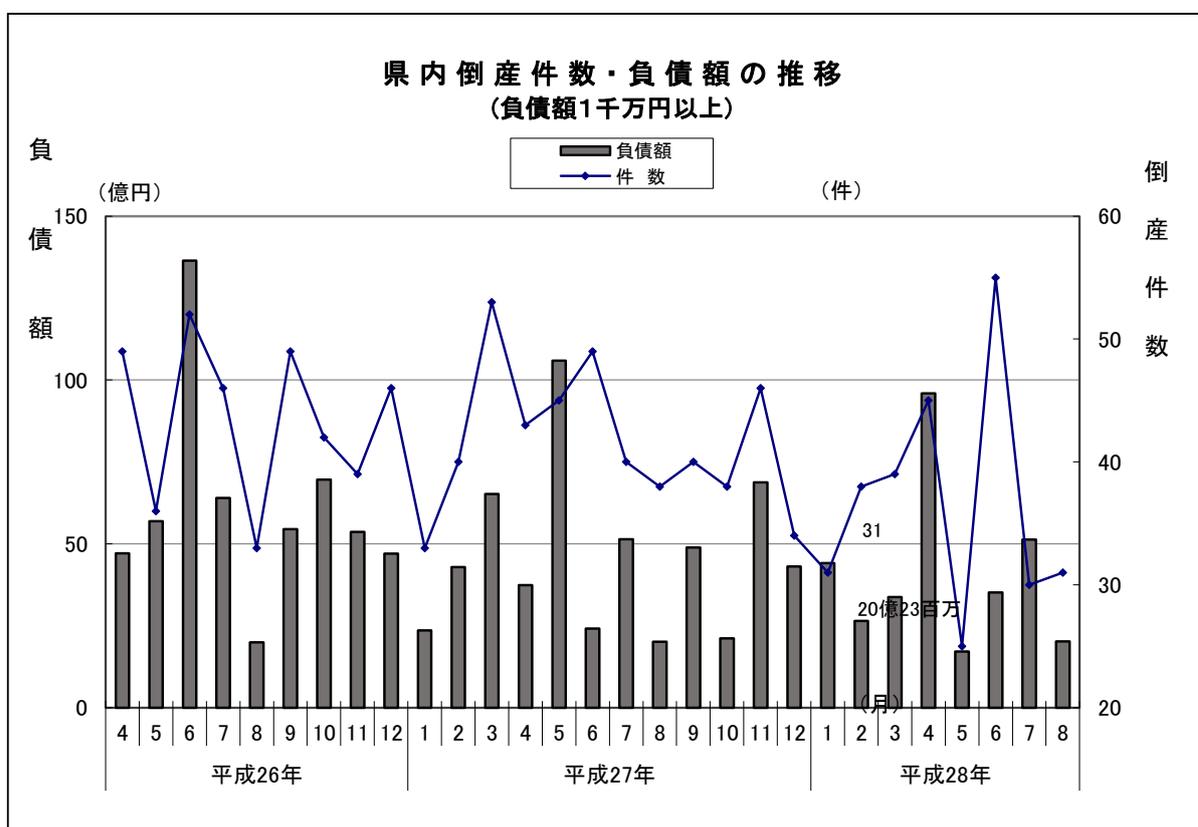
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳（負債総額 1,000 万円以上）

（単位：件数）

年月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1	0.9
24年 平均	51.9	16	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 平均	44.6	15	13.7	6.6	6.1	1.5	0.5	1
26年 平均	43	15.3	12.1	6.8	4.8	1.5	0.4	1.4
27年 平均	41.6	15.1	11.9	6.6	4.9	1.0	0.4	1.5
28年 1月	31	11	9	5	5	0	0	1
28年 2月	38	14	11	5	6	0	1	1
28年 3月	39	10	17	6	4	0	1	1
28年 4月	45	17	14	7	6	1	0	0
28年 5月	25	10	8	1	3	2	0	1
28年 6月	55	18	18	8	7	3	1	0
28年 7月	30	13	11	5	1	0	0	0
28年 8月	31	11	12	2	4	1	0	1

資料：東京商工リサーチ神戸支店



# 県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (22年=100)		全国 (22年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比 (%)	指数	前月比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	戸数 (戸)	前年比 (%)	前年比 (%)
27年 1月	107.8	7.6	102.4	3.7	185	17.8	0.9	1,830	-26.9	-13.0
2月	103.0	-4.5	98.9	-3.1	171	-11.6	1.0	2,308	-17.2	-3.1
3月	110.3	6.8	98.1	-0.8	253	-4.1	-0.3	2,898	13.9	0.7
4月	99.4	-10.0	99.3	1.2	531	-4.1	4.4	2,364	-13.1	0.4
5月	101.5	1.5	97.2	-2.1	286	-13.5	-3.4	2,985	19.8	5.8
6月	95.4	-5.9	98.3	1.1	347	1.5	-2.9	3,667	25.6	16.3
7月	98.9	2.5	97.5	-0.8	324	-13.6	-4.7	2,450	18.5	7.4
8月	97.5	-2.2	96.3	-1.2	248	6.8	-4.2	3,540	-15.0	8.8
9月	96.7	-1.6	97.4	1.1	330	-8.9	-5.3	2,292	-22.3	2.6
10月	95.1	-2.0	98.8	1.4	327	-4.9	-5.2	2,713	-13.7	-2.5
11月	98.9	4.0	97.9	-0.9	239	17.2	-4.6	3,191	-2.3	1.7
12月	94.3	-5.3	96.2	-1.7	293	21.7	-4.9	2,458	-11.1	-1.3
28年 1月	97.7	3.6	99.8	3.7	120	-35.1	-4.8	3,110	6.9	0.2
2月	101.7	3.6	93.2	-5.2	348	103.5	-4.7	2,158	-30.6	7.8
3月	99.5	-2.1	96.7	3.8	247	-2.0	-2.1	3,053	41.5	8.4
4月	100.2	0.5	97.2	0.5	655	23.3	10.6	3,019	27.7	9.0
5月	96.3	-4.7	94.7	-2.6	283	-1.2	1.4	2,218	-25.7	9.8
6月	101.3	5.2	96.9	2.3	451	29.9	-1.8	2,885	-21.3	-2.5
7月	96.6	-4.6	96.5	-0.4	288	-11.0	-6.9	3,032	23.8	8.9
8月					323	30.1	12.0			
9月										
10月										
11月										
12月										
29年 1月										
2月										
3月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

\* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)
27年 1月	14,292	-16.2	-20.7	172	-3.6	-0.4	4,304	21.4	2,934	-1.7
2月	17,426	-13.2	-15.8	139	-1.3	-17.7	4,145	-6.7	2,744	30.1
3月	21,773	-15.4	-11.9	171	-21.3	-17.7	5,185	6.9	2,658	0.6
4月	10,209	-4.9	-10.1	145	11.6	13.7	4,939	8.2	2,816	8.1
5月	11,397	-0.6	-8.2	153	5.7	6.3	4,376	1.0	2,560	-1.7
6月	14,318	-0.1	-3.8	149	-2.8	0.4	4,652	2.9	2,799	9.9
7月	13,853	-7.4	-9.1	177	3.5	0.4	4,928	6.9	2,873	8.0
8月	10,798	-0.5	-3.5	143	4.1	2.7	4,332	-3.7	2,627	6.8
9月	15,892	-9.8	-7.4	140	2.9	1.9	4,517	0.9	2,672	0.2
10月	12,686	-1.1	-4.0	155	2.9	4.2	4,843	-3.9	2,752	-2.7
11月	12,871	-3.6	-7.6	164	-4.4	-2.6	4,295	-5.7	2,625	-0.5
12月	12,131	-16.7	-14.6	233	-1.3	0.3	4,991	-8.0	2,586	-3.0
28年 1月	13,623	-4.7	-4.4	167	-2.9	-1.5	3,677	-14.6	2,688	-9.2
2月	15,837	-9.1	-7.5	138	-1.0	0.5	4,326	4.4	2,383	-13.2
3月	20,638	-5.2	-9.3	161	-5.9	-2.8	4,863	-6.2	2,551	-4.2
4月	11,125	9.0	2.2	141	-2.4	-3.6	4,466	-9.6	2,362	-16.1
5月	11,207	-1.7	-1.4	147	-3.7	-4.8	3,697	-15.5	2,410	-6.0
6月	13,684	-4.4	-5.6	144	-3.2	-3.6	4,484	-3.6	2,382	-14.9
7月	13,775	-0.6	-2.2	177	0.0	-0.2	4,203	-14.6	2,278	-20.7
8月	10,542	-2.4	2.9	134	-6.3		3,918	-9.6	2,322	-11.6
9月										
10月										
11月										
12月										
29年 1月										
2月										
3月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済産業局	神戸税関			

\* p は速報値 r は確報値

\* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (H28.7より27年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 (%)	指数 (22年=100)	前年比 (%)	神戸市		全国	
							指数	前年比 (%)	指数	前年比 (%)
27年 1月	0.95	1.14	1,032	-0.2	96.8	-0.1	102.3	2.3	103.3	2.4
2月	0.94	1.15	1,040	0.0	96.0	-0.9	102.4	-0.1	103.1	2.4
3月	0.95	1.15	1,032	-0.7	96.9	0.4	102.9	2.0	103.3	2.3
4月	0.96	1.17	1,053	0.4	98.4	0.0	103.2	0.6	103.7	0.6
5月	0.97	1.19	1,055	0.5	96.4	-1.3	103.8	0.9	104.0	0.5
6月	0.96	1.19	1,045	0.5	97.6	-0.5	103.5	0.7	103.8	0.4
7月	0.98	1.21	1,055	0.6	97.4	0.3	103.2	0.2	103.7	0.2
8月	1.00	1.23	1,052	0.4	97.5	-0.1	103.8	0.6	103.9	0.2
9月	1.02	1.24	1,052	0.7	97.7	1.3	103.7	0.2	103.9	0.0
10月	1.03	1.24	1,024	0.9	97.6	0.3	103.8	0.7	103.9	0.3
11月	1.05	1.25	1,057	0.8	97.9	0.8	103.5	-0.3	103.5	0.3
12月	1.06	1.27	1,057	1.1	97.9	0.7	103.4	-0.1	103.0	0.0
28年 1月	1.05	1.28	1,052	1.0	97.2	0.4	103.0	-0.5	103.2	0.3
2月	1.06	1.28	1,048	0.8	97.8	1.9	103.2	0.8	103.2	0.3
3月	1.08	1.30	1,042	1.0	99.4	2.6	103.2	0.4	103.3	-0.1
4月	1.12	1.34	1,059	0.5	99.4	1.0	103.3	0.1	103.4	-0.3
5月	1.14	1.36	1,061	0.5	98.5	2.2	103.6	-0.2	103.6	-0.4
6月	1.15	1.37	1,063	0.8	98.2	0.6	103.2	-0.2	103.3	-0.4
7月	1.16	1.37	1,060	0.5	95.4	1.5	103.2	0.0	99.6	-0.4
8月							100.1	-0.1		
9月										
10月										
11月										
12月										
29年 1月										
2月										
3月										
資料	兵庫労働局		兵庫県統計課			兵庫県統計課		総務省		

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額 (各期末) (億円)	前年比 (%)		全国銀行 (年%)	倒産 件数 (件)	負債 総額 (億円)	地域別倒産件数	
	指数	前年比 (%)			神戸 (件)				阪神 (件)	播磨他 (件)
27年 1月	103.3	0.3	154,351	1.3	1.179	33	33	14	10	9
2月	103.3	0.5	154,880	1.7	1.173	40	42	12	15	13
3月	103.5	0.7	158,666	2.1	1.158	53	65	14	23	16
4月	103.6	-2.1	155,375	2.0	1.157	43	37	15	13	15
5月	103.9	-2.1	154,428	0.7	1.153	45	105	16	11	18
6月	103.6	-2.4	154,717	1.3	1.141	49	24	21	16	12
7月	103.4	-3.0	154,763	1.5	1.137	40	51	17	7	16
8月	102.7	-3.6	154,623	1.1	1.135	38	20	18	7	13
9月	102.2	-3.9	156,038	1.5	1.125	40	48	14	12	14
10月	101.5	-3.8	155,425	1.5	1.125	38	21	15	10	13
11月	101.4	-3.6	155,242	1.2	1.121	46	68	22	9	15
12月	101.1	-3.4	156,968	1.3	1.110	34	43	13	9	21
28年 1月	100.1	-3.1	156,038	1.1	1.108	31	44	11	9	11
2月	99.8	-3.4	155,727	0.5	1.098	38	26	14	11	13
3月	99.6	-3.8	161,190	1.6	1.076	39	33	10	17	12
4月	99.3	-4.2	156,431	0.7	1.066	45	95	17	14	14
5月	99.4	-4.2	155,843	0.9	1.054	25	17	10	8	7
6月	99.2	-4.2	156,758	1.3	1.039	55	35	18	18	19
7月	99.2	-3.9	157,441	1.7	1.033	30	51	13	11	6
8月	98.9	-3.6				31	20	11	12	8
9月										
10月										
11月										
12月										
29年 1月										
2月										
3月										
資料	日本銀行				(株)東京商工リサーチ 神戸支店					

\* p は速報値 r は確報値